

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 我欲なく、見返りを求めず、無心に没頭する 鳥羽 博道 (ドトールコーヒー名誉会長)

1. 私が 24 歳でドトールコーヒーを創業した時はお金も後ろ盾もありませんでしたが、昨年 55 周年を迎え、売上高 1200 億円で業界 2 位、国内の総店舗数は 1346 店で業界トップに立っています。なんで自分がここまでやってこられたんだろうと振り返ってみると、我欲がなかったからだと思います。
2. 会社を立ち上げる前から、給料をもっと余分にもらいたいと思ったことは一度もないですし、もちろん地位を求めたことも一切ありません。目の前の仕事を真剣にやっていると、自然に物事がうまく展開していく。
3. 地元の高校を 3 か月で中退し、着の身着のまま上京しました。17 歳の時にある飲食店に勤めていましたが、半年しか働けなかったにもかかわらず、20 歳の時にその飲食店の社長から手紙が来て、「ブラジルへ来い」と誘われて、海を渡りました。移民船で 42 日間かけてブラジルに行き、コーヒー農園で 3 年間働きました。そうしたら、今度はブラジルに渡る直前に勤めていた日本のコーヒー卸会社の社長から電話がかかってきて、「船賃全部出すから帰って来てくれ」と。
4. そういう形で、一つひとつの出来事を振り返ると、我欲がなく、見返りを求めず、真剣に無心に没頭してやってきたことが自分を運んでくれたように感じます。  
(参考:「致知」2018 年 3 月号)

## 経営者のための理念・哲学

### 根源的な要素が多く含まれている

1. 「産業人たるの本分に徹し、社会生活の改善と向上を図り、世界文化の進展に寄与せんことを期す」。パナソニックの創業者・松下幸之助が 1929 年に制定したこの綱領と、信条と 7 精神の 3 つを、朝礼や集会などで唱和するのが日課になっている拠点は多い。
2. 7 精神とは次の 7 項目である。(1)産業報国の精神(2)公明正大の精神(3)和親一致の精神(4)力闘向上の精神(5)礼節謙譲の精神(6)順応同化の精神(7)感謝報恩の精神。今年創業 100 周年を迎えるパナソニックは、これら幸之助イズムの時代や地域を問わない普遍性を持っている。彼の哲学の中には、「顧客と社会に貢献するために事業をする」という意識を強く持つ」など、根源的な要素がたくさん含まれている。  
(参考:「週刊東洋経済」:2017 年 12 月 16 日号)

## ワンポイント経営アドバイス

### ユニークな商品は一日にして成らず

#### 濱口 道雄 (ヤマサ醤油会長)

1. 創業は正保 2 年 (1645 年)、千葉の銚子でしょうゆづくりを始めて 372 年になります。おいしいしょうゆをお届けすることを何より大事にしていますが、ただ「守る」だけでは時代の変化に対応できません。長く続けるとは、つまり変化に対応し続けること。それが「しぶとさ」の源泉です。
2. 私が 12 代目の社長になった 34 年前、しょうゆの出荷量は日本全体で約 120 万キロリットルありましたが、今や 78 万キロリットルを割り、私どもの売上高に占めるしょうゆの割合も 7 割から 3 割ほどに。そんな厳しい環境でも業績を伸ばし続けてこられたのは、しょうゆをベースにしたユニークな商品のおかげです。ユニークな商品は一日にして成らず。良い環境を整え、良い素材をしっかり熟成することが肝要です。  
(参考:「日経ビジネス」2017 年 12 月 18 日号)

## 古典に学ぶ

### 大事と小事について

「それと共に考えねばならぬことは、大事と小事とについてである。失意時代には小事もなおよく心するものであるが、多くの人得意時代における思慮は全くそれと反し、「なにこれしきのこと」と言ったように、小事に対しては殊に軽侮的態度を取り勝ちである。しかしながら得意時代と失意時代とにか拘わらず、常に大事と小事とについての心掛けを緻密にせぬと、思わざる過失に陥りやすいことを忘れてはならぬ」  
(参考: 洪沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)